



鹿児島市の課題解決型 インターンシップに参加



県内の大学生等 14 名が参加した**鹿児島市の課題解決型インターンシップ**に、**本学国際文化学科の学生 5 名が参加しました**。「若者の起業マインドの醸成手法の提案」をテーマに 10 日間のプログラムで構成され、フィールドワークや先進事例研究等を 3 グループに分かれて行い、最終日にプレゼンテーションを行いました。

片平康太さん（国際文化学科 3 年、都城商業高校出身）のグループでは、小学 3 年生から中学 3 年生までを対象に起業家マインドを醸成する「放課後塾」を提案しました。行政や地元企業と協同で実施するもので、地域の方々や起業家とも触れ合いながら積極性や好奇心を育む柔軟なプログラムを企画。片平さんは「成長の早い段階で地域の魅力に触れると、将来地元に残って、地域を活性化する新たな事業の立ち上げに繋がるのではないかと考えた。

今回のインターンシップで、**鹿児島にも若い起業家がいることを知り刺激を受けた**」と話しました。

また、学生同士のディスカッションが白熱したと話す山口さくらさん（同学科 2 年、出水高校出身）は、「**起業家の方から逆境をプラスに捉えることやワクワク感を大事にすることなど、勇気をもらえる話を伺い視野が広がった**。様々なことを経験して、楽しく、一生懸命生きたいと考えており、まずは学生時代にイベントを企画・運営することから挑戦したい」と成長を実感しているようです。



鹿児島市の「高齢者の 安全対策委員会」に参加



社会福祉学科 岩崎ゼミ

社会福祉学科の岩崎ゼミ生が、令和 4 年 5 月に開催された第 1 回『**鹿児島市セーフコミュニティ高齢者の安全対策委員会**』へ、**学生オブザーバーとして参加しました**。今回はその報告を紹介します。

鹿児島市が取り組んでいる「けが」や「事故」など、日常生活の中で私たちの健康を阻害する要因を予防することによって、安全なまちづくりを進めるセーフコミュニティの分科会の一つである「**高齢者の安全対策委員会**」に参加させていただきました。委員会には、高齢者クラブ連合会、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、認知症の人と家族の会、食生活改善推進連絡協議会、社会福祉士会、介護支援専門員協会、訪問看護ステーション連絡協議会、健康づくり推進委協議会、運動普及推進員協議会、町内会等の代表者、行政の高齢者関連の担当課の方々が参加されていました。委員

会の取り組みは、これまでの転倒予防に加え、前年度より誤嚥による窒息の予防を主軸においた取り組みが行われており、今年度は、さらなる取り組みの充実と、取り組み地区の拡大を図るという目標を掲げ、活発な意見交換が行われました。また、今年度は、これまでの取り組みの評価・改善を目的としてアンケート調査を行っていくとのことでした。高齢者を取り巻く各種団体や地域住民、行政が一緒になって安全なコミュニティづくり活動に取り組んでいる貴重な場に参加することができ、地域づくりに興味がわき、とてもよい刺激となりました。会議の後、町内会と高齢者クラブ連合会の代表の方々から声をかけていただき名刺をいただきました。今後、連絡を取り、地域や団体での活動を実際に見学させていただきたいと考えています。

★学生オブザーバー（岩崎ゼミ 4 年）

白田美佳・草野春香・神崎未有・寺田優哉

農業高校生と大学生の共同による 6次産業化人材育成ワークショップ開催

経営学科・中西ゼミ × 市来農芸高校

経営学科の中西ゼミが、今年度前期に鹿児島銀行との共催事業「農業高校生と大学生の共同による 6 次産業化人材育成ワークショップ」を行いました。

これは鹿児島県における 6 次産業化の推進に有用な人材を育成することや、高校生と大学生の相互交流を通して、高校生の高等教育への関心を育むとともに、大学生の社会的経験値の向上を図ることを目的としたもので、中西ゼミの 2 年生 15 名と県立市来農芸高校農業科の 2 年生 21 名が参加しました。

本事業では合計 36 名を高校生と大学生からなる 6 つのグループに分け、グループごとに、6 月 19 日(土)の商品案審査会での採択を目指して、JR 川内駅前の「SCUBE HOTEL by SHIROYAMA」の割烹でお客様に提供する、市来農芸高校で育てた食材を用いた食後のデザートの開発・検討を行いました。

オンライン遠隔会議システム Zoom を活用したグループワークを重ねた結果、各グループから 6 つの商品案が提出されました。このうち、商品案審査会で選ばれたのが「紅白杏仁」です。



市来農芸高校で育てられたトマトとイチゴのゼリーを用いた、美味しく見た目もとても美しい杏仁豆腐です。同商品を考案した経営学科 2 年の森秋乃さん(伊集院高校出身)は「選んでもらえてとてもうれしい。審査会でプレゼンテーションするまでに、高校生と繰り返し打ち合わせを行ってきたが、自分の考えを的確に伝えることが難しかった。6 次産業化は鹿児島県の農業活性化のためにとても大切なこと。このイベントではその魅力を知ることができた」と語っています。



〔主なスケジュール〕

- ・4 月 16 日(土)：大学生と高校生の交流会 & グループワーク (於：市来農芸高校)
- ・4 月 ~ 6 月：商品開発やプレゼン発表準備
- ・6 月 19 日(日)：商品案審査会 (於：よかど鹿児島)
- ・7 月 2 日(土)：試食会 & キャリア教育 (於：鹿児島国際大学)
- ・7 月 19 日(火)：学内販売会 (於：本学ユウカリ会館)
- ・7 月 23 日(土)：学外販売会 (於：よかど鹿児島)

